

部活動だより

ソフトテニス部

私たちソフトテニス部は、男子十三人、女子七人で、先方のご指導のもと、日々の練習に励んでいます。新人大会では、男子が団体県西三位という結果を残すことができました。インターハイ出場できるよう、まずは、春の大会で関東大会出場を目指し、チーム一丸となって突き進んでいきたいと思えます。私達の部活は、熱意ある君たちを待っています。

バスケットボール部

私たちは、顧問の廣瀬先生ご指導のもと、男子十四人、女子十三人の計二十七人で日々練習に励んでいます。昨日行われた県新人大会地区予選では、女子は惜しくも県大会を逃してしまいましたが、男子は県大会に出場することが出来ました。初心者でも上手になれるので、興味があったら見学に来てください。

ライフル射撃部

僕達ライフル射撃部は、三年生の引退後一年生四名で活



動しています。練習は真壁の射撃場でエアライフルを撃っています。人数は少ないですが、関東大会にも出場しました。ライフル射撃はオリンピック種目にもあり、集中力を鍛えられ、個人の努力次第によっては、全国大会、国体にも出場できます。全国大会での上位入賞を目標に更なるレベルアップを目指し活動中です。

剣道部

剣道部は青木先生のご指導のもと男子六名女子五名計十一名と人数が少ないながらも、日々稽古に励んでいます。五月には関東予選、六月にはインターハイ予選などの大会があり

ます。チーム一丸となって、良い結果を残せるよう頑張りますので応援よろしくおねがいします。

硬式野球部

私達、硬式野球部は磯山監督・岡田部長・須藤顧問のもと、選手一〇名、マネージャー四名で活動しています。秋大・県大会出場、春大・県大会一勝、夏大・ベスト八を目標に掲げ、「全員野球」をモットーに目標達成に向けてチーム一丸となり、日々努力しています。ピッチャーを中心に守備でしっかりとリズムを作り、全員でつなぎ粘り強い攻撃が出来る野球を目指しています。

柔道部

現在、柔道部は部員が男子一名という状況ですが顧問の先生のご指導のもとALTのベンジャミン先生と一緒に柔道の練習や筋力トレーニングなどを行っています。また柔道部としては団体戦にも出場したいと考えているので経験のある方はもちろん初心者の方も興味があったらぜひ体験に来てください。

弓道部

て多くはありませんが、自分の目標に向かって努力している人たちです。卓球の経験者だけでなく、初心者の方の入部をお待ちしております。

卓球部

私たちは、男子五名、女子五名で活動しています。卓球部では文武両道を目標にして活動しています。人数は決し

私たちは立川先生、飯島先生ご指導のもと日々練習に励んでいる。練習方法は的に向かい矢を射るといったシンプルなものだが、一射一射に緊張感、達成感が得られ、集中力、精神力が養われる。今年三月に鹿児島で行われる全国大会に女子個人が出場する。今年の目標はインターハイ出場である。

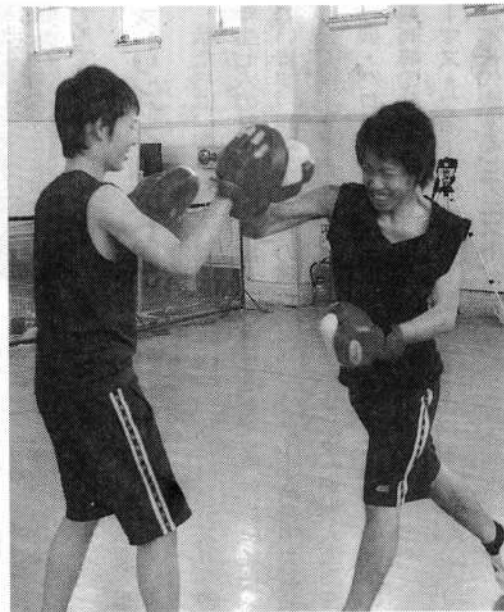


私達バドミントン部は、男子二名、女子一三名で活動し、大会で活躍できるように日々練習に励んでいます。バドミントン部に興味を持った方は是非、一度見学しにいらしてください。お待ちしております。

バドミントン部

ボクシング部は二年生一人、一年生十五人で活動しています。ほとんどの部員は格闘技経験がなく、互いに切磋琢磨して約一年練習に励んできました。また、大会に出るためには、一年間経験を積みなければならぬので、結果がでるのは来年度になりそうです。

ボクシング部



水泳部

水泳部は学校で活動していませんが、スポーツクラブで練習に励んでいます。昨年は県民総合競技会で、女子百m自由形準優勝、五〇m優勝。男子二〇〇mバタフライで七位入賞しました。人数が少ないので、興味のある方は入部してください。

バレーボール部

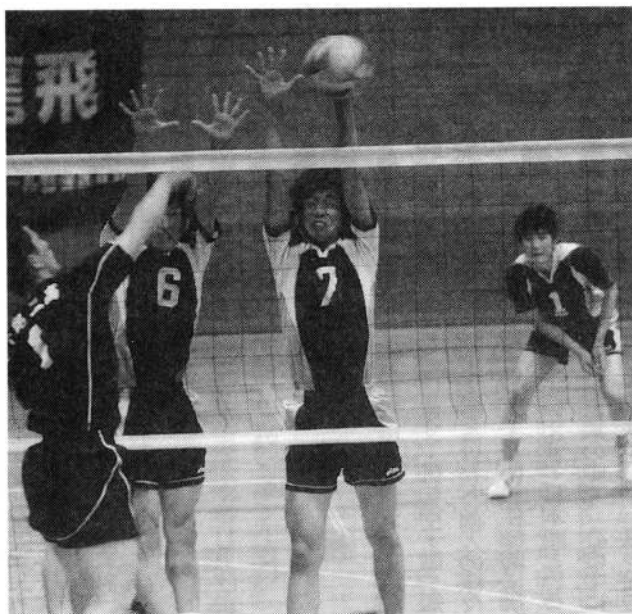
バレーボール部は二年生七名、一年生六名、マネージャー四名で中村先生、酒寄先生、廣瀬先生のもとで日々活動している。練習内容は基礎を中心に行っている。女子は新人戦において県大会に出場した。これまで以上の成績を残せる

硬式テニス部

私達硬式テニス部は中村先生の御指導のもと、県大会出場を目標とし日々練習に励んでいます。昨年は県大会に進出することが出来ず、苦しいをしました。だから今年こそは部員一丸となって目標を達成し、勝利の喜びを分かち合いたいです。

軟式野球部

僕たち軟式野球部は丸山先生、岩澤先生の御指導の下、日々練習に励んでいます。メ



陸上部

僕たち陸上部は、男子十二名、女子二名マネージャー三名の計一七名で顧問の鯨先生と大竹先生の下で練習に励んでいます。昨年は新人大会において短距離・長距離・リレー

サッカー部

僕たちサッカー部は二年生二十一一人、一年生十八人、マネージャー四人、計四十三名で顧問の白岩先生、川上先生の下、県大会ベスト八以上を目標に日々練習に励んでいます。初心者でも経験者でも興味のある方は是非一度見学に来てください。

生物部

生物部は一年生のみで活動しています。主な活動は部員

書道部

私達書道部は部員数五名で活動している。練習は各自で行い、各種書道展への出品の制作に励んでいる。昨年度は、「茨城高等学校総合文化祭」において三名が入選しました。他の書道展においても上位入賞しています。人数が少ないので興味のある方は是非入部してください。



報 音 楽 部

活動は、朝と放課後。現在、多くのバンドが文化祭や有志での校外ライブに向けて日々真剣に活動している。他の部活との兼部も可能。高校生になって初めて楽器を始めた人も多く、初心者でも充分に楽しめる部活である。

吹 奏 楽 部

私たちは、佐藤先生、外部講師の都野先生のご指導のもと、男女二十五名で日々練習に励んでいます。コンクールや、定期演奏会、野球応援、各音楽会など活動場面は様々です。今年度は下妻二高との合同演奏もしました。毎日賑やかに楽しく活動しています。興味のある方は是非見学に来てみてください。

ストリングオーケストラ部

私たちは、一年生四人、二年生七人の計十一人で活動しています。昨年の十一月の演奏会では、ウィーンを中心に、古典・バロック演奏家として最高峰の評価を受けているトーマス・フォードロフ氏と、日本を代表するピアニスト、

奈良 希愛氏と共演しました。「自由に楽しく」をモットーに和やかな雰囲気の中で練習しています。

放 送 部

私達放送部は一年生七名、二年生五名の計十二名で全国大会出場を目指して毎日練習に励んでいます。団体戦のラジオドラマ部門では全国大会出場、個人戦のアナウンス部門では県大会優勝と好成績を収めることができました。また、校内集会や体育祭などのマイクセッティングも放送部が担当させていただいています。興味のある方は一度、是非部室にいらしてみてください。

写 真 部

今年の写真部の活動は、県高校総文祭への出展を始めとして、春の撮影旅行、高文連写真部会主催の講演会や撮影研修会、写真コンテストへの参加などです。部員は現在十名、デジタル写真を中心に活動中です。また、新入部員を急募中です。よろしくお願います。

美 術 部

私たち美術部は館野先生のご指導のもと、二年生四人、一年生三人で活動しています。部員一人一人が画力向上を目指し、主にデッサンや油絵などを描いています。県西展、県展に出品したり、学校行事のパンフレット等の挿絵を担当します。興味がある方はぜひ見学に来てください。

茶 華 道 部

私たち茶華道部は講師の飯塚先生、顧問の福田先生のもと十五人で活動しています。「和敬清寂」を心がけながら、ただ季節ごとのお菓子やお

茶は私達の楽しみの一つです。来年は私達の最大の見せ場、文化祭があります。「立礼」という椅子と卓を用いて行うお点前で、みなさんにおいしいお菓子とお茶を差し上げます。ぜひ遊びに来て下さい。

文 芸 部

文芸部は、部員五人で活動しています。俳句甲子園や短歌甲子園をはじめ、個人の様々なコンクールにも積極的に挑戦しています。日本語という美しい言葉の中で、心の中に残った風景や、ふと思ったことを素直に表現する楽しさを学べる部活です。随時部員募集しています。興味のある方

は気軽に入学してください。

ボランティア同好会

ボランティア同好会は二年生八名で楽しく活動しています。毎年サマーセミナー、養護学校や身体障害者施設の行事のサポートなどに参加しています。相手にとっても、自分にとっても良いことで、勝利活かすことの出来る貴重な体験がたくさんできます。年に活動が五回程度なので兼部も可能です。

編 集 後 記

初めて、編集に携わりました。割り付けの仕方、印刷所さんとの段取りや記事・写真の収集、全てが大変なことに気がきました。同窓会の皆さま、諸先生方、下館第一高等学校のトピックスを紫西会報から取り入れている方、遅くなって申し訳ありません。

話がかわって、三年生が卒業間際ということもあり、何か送る言葉を考えて。今年一年生を担当しているが、教科書を見てみると高浜虚子の「春風や 闘志いただき 丘に立つ」という句が目に入った。学生の時から、十何年ぶりにこの句に再会したが、僕

は、この句が好きだ。

当時、河東碧梧桐一派の傾向俳句が俳壇を風靡し、季語や定型俳句からの逸脱する方向であった。それに対し、不満を抱いた虚子は俳壇に復帰し、伝統を守ろうとした。そうした背景がこの句にある。丘の上に立ち、やわらかな春風を胸に受けながら、これから歩む人生に対して、何事にも負けず立ち向かおうとする強い決意や意志が感じられる。

三年生には、この句を送りたい。今、受験シーズンが終了間際になり、もう少しで新しい人生を送ることになるだろう。だが、人生全てが順風満帆とは言いがたい。そんな中、強い意志を持って、四月からの新しい環境で頑張ってほしい。

最後に、多くの方々にご協力を頂き、完成させることが出来ました。誠にありがとうございました。

(大吉 記)

編集委員 佐藤 伸彦

柴山 佳美

大吉 悟

写真提供 鈴木写真館

